

さくらんぼ組 懇談会資料

懇談会アンケートにご協力をいただきまして、ありがとうございました。さくらんぼ組での生活も残り1か月半となりました。初めての集団生活で、少しでも不安を解消できる様に、連絡帳、おたより、ドキュメンテーション、などでお伝えさせていただきましたが、一緒に過ごす一日一日が成長を感じられる日々でした。

〈生活〉

食事：食べる事が好きな子ども達は、保育者が給食を取りに行くとソワソワと水道の前に集まり、給食が到着するのを待ち望んでいる程です。離乳食の時には、少しずつ食べさせてもらいながら、食材の味や感触、咀嚼をしながら飲み込む事に慣れてきました。今では、自分で手を伸ばして手づかみ食べをしたり、食具を持って自分で口に運んで食べたりする様になりました。また、今までは何でも食べていた子ども好き嫌いが出て来ています。そんな時に「食べてみない？美味しいよ」と伝えても、真横を向き「食べたくない」という思いを伝えてくる姿も見られます。そんな時には、「お友だちも食べているよ。食べてみる？」と伝えてみたり、スプーンに食材を乗せて、「ガタンゴトン～ガタンゴトン～〇〇くんのお口」と遊びながら勧めてみると、口を開けて食べてくれる時もあります。好きな物の時には、ウトウトしながら食べていても、フルーツを見つけると、眠気も冷め黙々と食べています。フルーツは皆の大好物です。

着脱：少しずつですが、「自分で！」という思いが出始め、おむつやズボンも「自分でやる」と頑張る姿が見られるようになってきました。デニムや伸縮性のない素材ではなく綿素材の物だと子ども達も着脱しやすく、成功していますので、ご協力をお願いいたします。

排泄：活動の切り替え時にオムツ替えをしています。オムツを変える時に、オムツが濡れていない子には、「座ってみる？」と声をかけて、まずは便座に慣れるところから無理なくすすめています。最近では、「オムツを変える？」と聞くと、自分のオムツと一緒にお友だちのオムツを持って来て来てくれています。また、寝ながら取り替えるのではなく、少しずつ、つかまり立ちをしながらオムツ替えを始めています。

睡眠：入園当初は、少しでも安心して入眠してもらいたいと思い、抱っこをしながら子守唄（きらきら星、ゆりかごのうた等）をうたっていましたが、今は少しずつお布団に横になり、トントンや背中をさすって入眠出来る様にしています。手を握ったり、さすったりしていると、いつの間にか寝ている時もあります。午前中の活動で身体を沢山動かして遊んだり、じっくりと遊び込む事で、少しずつ睡眠時間も一定になって来ました。SIDS防止の為、うつ伏せ時には仰向けに直す様にしています。

〈遊び〉

保育室内では、「これは何だろう？」と思える環境作りを大切にしてきました。音が鳴るやクルクル回る物、触れたい物、引っぱりたい物、登りたい物、柔らかい物、固い物など保育室には意図的に準備しました。今では、器用に小さい物でも摘まんだり、投げたり、転がしたり、見えない所へ閉まったりしながら遊んでいます。

戸外遊びでは歩行も安定し、行きたい場所へ自分で行ける様になりました。遊び方も少しずつ変わっていき、保育者と一緒にやっていた事を見守られながらチャレンジする様になりました。

お友だちが持っている玩具を見つけると、「同じ玩具を、同じ場所で、同じ様に」使いたくなり友だちの使っている物を取ってしまう事がみられるようになりました。保育者も「使いたかったんだね」と思いを受容してから「今は〇〇ちゃんが使っていたよ」等と言葉を掛ける様にしています。そんな保育者の言葉に「ウンウン」と大きな声で怒ったり、「アー」と大声を出したりする姿が見られたり、取ってしまった事を気にして友だちの様子をチラチラと見たりする姿も見られます。

〈1歳児クラス・ばなな組になると〉

- ・ばなな組、15名のクラスになります。
- ・朝、夕の時間は異年齢児とばなな組やみかん組と一緒に過ごします。
- ・お昼寝はコットベッドになり、コットマットを使用します。

〈お願い・お知らせ〉

- ・すべての持ち物に分かりやすく記名をしてください。
- ・ロッカーの着替えのサイズや枚数のご確認をお願いいたします。外靴は毎週金曜日にお持ち帰りいただき、お洗濯とサイズをお願いいたします。